

小児科だより vol.22



小児科だより
バックナンバー

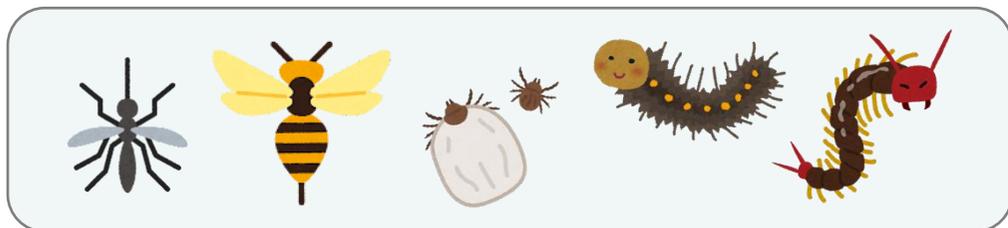
「虫さされについて」

今回は夏も近づいて来ましたので虫さされについてです。
実は虫さされは、子どもの方が大人より症状が強く、長引きやすい
ため、予防することが大切です。

・虫さされについて

最も有名なのは蚊（カ）だと思えます。しかし、蚊のように血を吸う虫はもちろん、ハチやムカデなどさしたりかんだりする虫、ガの幼虫のように毒毛がある虫にも注意が必要です。

特に **2-6 歳くらいのお子さんは虫にさされやすく、大人よりも大きく腫れるなど症状が強く、長引きやすい**です。



・どうしてかゆいの？

虫の唾液や毒自体の影響もありますが、**かゆくなる主な原因はアレルギー反応**です。何回かさされるうちに、体が虫の成分を覚えることで、反応が強くなっていきます。

赤ちゃんは虫にさされても、それほど痒がりません。これは、まだ体が虫の成分を覚えていないので、アレルギー反応を起こしにくいからです。**2-6 歳までには何度もさされ、体が覚えてしまうことで強く反応します。ただ、さらに繰り返されると免疫反応は少しずつ弱くなり、学童期以降に症状が軽くなります。**

・治療はどうしたらよいですか？

かゆみを伴う場合、ステロイド外用薬が有効です。ドラッグストアでも購入可能です。塗らなくても数日から1週間程度で良くなります。かゆいときは**冷やすこと**が有効です。

毛虫を触ってしまったときは、粘着テープや流水で毒毛を排除しましょう。こすると悪化してしまう可能性があります。

● ハチに2回さされたら、アナフィラキシーになりますか？

➤ **必ずしも強い反応が起こるわけではありません。**短い期間に何回かさされることは危険ですが、多くの方は局所の反応が強くなる程度です。しかし絶対に起こらないともいえません。小児でハチによるアナフィラキシーは稀ですが、じんましんや息が苦しいなどの症状が出た場合は救急車を呼びましょう。特に**アシナガバチやスズメバチ、ミツバチ**に注意が必要です。

・虫さされの予防！どうすれば良い？



服装

- ・虫が多いところで素肌は出さない
- ・虫が近づく花柄や黒い服装はさける



虫よけグッズ

- 有効な成分は「**イカリジン**」と「**ディート**」の2種アロマも人気ですが、効果は弱いです
- ・**イカリジン**：安全性が高く、小児でも使いやすい
 - ・**ディート**：効果が高く、野山でもより安心できる



生活

- ・ハチの巣や虫が多いところに近づかない
- ・汗はこまめに拭き取り、シャワーを浴びる



*** 今回のまとめ**

虫さされは 2-6 歳ごろのお子さんの方がひどくなりやすいです。これからの季節、蚊はもちろんハチやムカデ、毛虫など様々な虫に注意が必要です。

かゆくなる原因はアレルギー反応が主体のため、ステロイド外用薬が有効ですが、できるだけ虫にさされないように予防をすることが肝心です。子どもに使用する虫よけとしては「イカリジン」がおすすめです。